平成 24 年度第 1 回周防大島町行政改革推進委員会会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 25 年 2 月 26 日（火）13 時 30 分～15 時 10 分
- 2 開催場所 周防大島町役場大島庁舎 2 階庁議室
- 3 出席者 委員 川本隆夫
委員 木村敏樹
委員 中司 孝
委員 中元みどり
委員 新山統一郎
（欠席委員 秋吉利夫・奥川与志人・河村 勤・谷 満雄・古本啓二）
町長 椎木 巧
副町長 岡村春雄
総務部長 星出 明
事務局 総務課 課長 奈良元正昭
班長 佐々木義光
主幹 木谷 学

4 議題の概要

- (1) 第 2 次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成24年度取組内容及び成果報告について
- (2) 組織機構の見直しについて
- (3) 「お客様アンケート」について

5 提出資料

- (1) 第 2 次周防大島町行政改革大綱実施計画の取組内容及び成果報告...資料 1
- (2) 組織機構等の見直し...資料 2
- (3) お客様アンケート...資料 3

6 会議経過

町長あいさつ

委嘱状交付

委員紹介及び会長・副会長の選任

会長 川本隆夫

副会長 奥川与志人

協議事項

別紙

(会長)

それでは、協議事項1の第2次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成24年度の取組内容及び成果報告について、事務局から説明を求めます。

(事務局)

平成24年度における取組内容及び成果報告について報告いたします。

- 「資料1」に基づき報告 -

(会長)

ただいま事務局から報告がありましたが、ご意見ご質問をお願いします。

(委員A)

「(32)新たな定員適正化計画の策定」によると新規採用者10名を予定しているようですが、退職者が21名であれば昨年比較で11名の減となります。新規採用者は20代の方と思いますが、合併後に新規採用者が少なかったことから、30代の職員が非常に少なく年齢構成が歪になっているのではと思いますがいかがでしょうか？

(事務局)

合併後から4～5年の間、職員の採用を控えてきたことにより、年齢構成についてはご指摘のとおりと思います。

職員採用試験における年齢の上限については、一昨年までは28歳でしたが昨年からは30歳まで引き上げました。しかし、選考方法についてはこれまで同様、成績順としています。今後は、社会人枠を含め中堅職員の確保について検討したいと思えます。

(委員A)

社会人枠を設ければ、即戦力となる30代の職員の確保に繋がると思います。

選考方法については成績重視ではなく、個人の技能などの評価により職種による採用は考えられないものでしょうか？

(事務局)

他の自治体の選考方法等も研究し、社会人枠について前向きに検討したいと思えます。

(委員B)

毎年多くの職員が退職していますが新規採用者が少ないことから、職員個々の負担が大きくなってきているのではないのでしょうか？このことにより、職員が地域に出向いたきめ細かい対応が困難になるものと思いますが、サービス低下により住民や利用者が不満を感じるのではと危惧します。

職員定員の適正化については、切り詰めることの善し悪しがあると思いますが、今後の職員数についてどのように考えていますか？

(事務局)

平成16年10月の合併直後の職員総数は381名でしたが現在は272名と、約30%の減となっています。類似団体と比較した場合は更に40～50名の削減が必要となりますが、町の面積や集落の点在、更には分庁分散方式での行政運営など、単純に比較ができない部分もあろうかと思えます。

職員数の減少に伴う対応については、機構改革や出張所を嘱託職員で対応するなどの工夫をしてきましたが、これ以上の職員数の減については限界ではと思っています。

(委員A)

「(15)体験型修学旅行誘致の推進」の件ですが、本事業の取組を始めて何年になりますか？

(事務局)

3年目を迎えました。

(委員A)

昨年比較で1,000人も増加するなど非常に順調に見えますが、大切な時期に差し掛かっているのではないのでしょうか？ 修学旅行を誘致することが精一杯で、大島で過ごすことについて十分な対応ができていないのでしょうか？ 本事業は他の自治体も展開していますので、大島の特性を生かしたメニューの再考や民泊先の受入態勢などについて、冷静な視点で見直す時期だと思います。

また、現在はエージェント(旅行会社等)を介しての事業展開ですが、学校との直接交渉はできないのでしょうか？

(事務局)

学校がエージェントを介することを求めています。また、修学旅行ということから時期が集中し、受け入れすべく日程調整が大きな課題となっています。

また、学校によっては仮予約後にキャンセルされることもあります。しかし、仮予約を受け付けないと他の自治体に行かれる(逃げられる)可能性があるため、その対応にも苦慮しています。

(委員A)

町内にエージェントがいれば連携も取りやすいと思いますが...

(委員C)

エージェントは交通手段を含めた修学旅行の全ての手配をするので、相当の知識がないと対応が出来ないと思います。

また、民泊の受入家庭が高齢化により食事や寝具の準備などで大変な思いをしているという話を聞きます。お互いが気持ち良く過ごせるためにも、実態把握の必要があるかと思います。

更には、このような事業を実施するからには、将来、リピーターとして大島に来てほしいものです。

(事務局)

幸いにも周防大島は修学旅行先としての評判が良いことから、エージェントから学校への口添えもいただいているようです。

また、既にリピーターの方はいらっしゃいます。子供が家庭に戻り修学旅行の出来事を話したことをきっかけに、両親とともに来島され「大観荘」へ宿泊されたとのこと。

(委員C)

大島のファンが増えているようで、嬉しく思います。

(委員A)

修学旅行で来島した子供達に「周防大島 PR 隊」となってもらうような工夫が必要と感じました。修学旅行を受け入れることのみではなく、子供達に周防大島の良さを発信していただいたり、リピーターをどのように増やすかと言うような次に繋がる仕組みづくりについて検討すべきだと思います。

(委員D)

「(13)パブリックコメント制度の推進」の実績がゼロと言うのはなぜですか？

(事務局)

意見を求めるような計画策定が無かったためです。

しかし、町議会は昨年「空き家条例」の関係で実施しているようです。

(委員C)

「(32)新たな定員適正化計画の策定」に関係することですが、現在の定年は60歳ですが、今後はどのようになる見込みですか？

(事務局)

再任用制度の導入を含めて考える必要があるかと思います。

(委員E)

「(29)処分可能な町有地の売却等の促進」について本年度実績はないようですが、活用計画のない土地については積極的に売却した方が良いと思います。

(事務局)

売却のみならず、貸付も含め検討していきたいと思います。

(委員A)

町は土地の寄贈を受けていないのでしょうか？

(事務局)

町の計画に合点する土地は別として、財産管理が困難であるがゆえに基本的にはお断りしています。

(委員D)

町外在住により「管理できない古い家を貰ってほしい」と思っている方は多くいると思いますが、その対応は困難でしょうか？

(委員A)

トイレが水洗化されており風呂などの水回りが綺麗であれば、借りる人はいると思います。更に駐車場があれば言うことはありません。このような家を発掘することも大切なことだと思います。

また、古い家を安易に解体すると風道が変わります。特に海に近い場合は、空き家が防風の役目を担っているため、解体を促進することにより風の当たりが強くなるといったマイナス面も発生します。

(会長)

他に意見はありませんか？

- 意見・質問なし -

(会長)

それでは、協議事項2の組織機構等の見直しについて、事務局から説明を求めます。

(事務局)

組織機構等の見直しについて説明いたします。

- 「資料2」の内容について説明 -

(委員A)

生活衛生課と環境施設課の統合により職員が減少するのですか？

(事務局)

課長の減はあります。なお、本課は廃棄物の収集と施設管理を別々に行っていたものを1つの課に集約するというものです。

また、介護保険課内の地域包括支援センターと介護予防班の統合についても班長の減があります。

(会長)

他に意見はありませんか？

- 意見・質問なし -

(会長)

それでは、協議事項3のお客様アンケートについて、事務局から説明を求めます。

(事務局)

お客様アンケートについて説明いたします。

- 「資料3」の内容について説明 -

(委員B)

その他の意見として出勤時間の指摘がありますが、何らかの事情によることは別として、5分前には自席にいることが原則と思います。

(委員A)

アンケートの結果について、職員へ周知しましたか？

(事務局)

部長会議で資料を配布し、全職員へ周知しました。

また、アンケートの内容や結果については周防大島町のホームページにも掲載しています。

(会長)

他に意見はありませんか？

- 意見・質問なし -

(会長)

その他、議題以外でも結構ですが意見はありませんか？

(委員A)

昨年度に実施した各庁舎の巡察ですが、来年度、実施した方が良いでしょうか？

(委員D)

良いことと思います。

(会長)

それでは、来年度、実施したいと思います。

(事務局)

来客者の全ての方に声掛け(挨拶)はできないと思いますが、会釈を含めた挨拶の徹底がされているか否かについて確認して欲しいと思います。

(委員A)

管理職はカウンターから見て正面に座っているので良く見えます。部課長の会釈も大切なことです。

(事務局)

部長会議等で指導をします。

(会長)

他に何かありませんか？

- 意見・質問なし -

(会長)

長時間にわたる熱心なご審議ありがとうございました。以上で平成24年度の行政改革推進委員会を閉じます。